

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2020-36743 (P2020-36743A)

【公開日】令和 2 年 3 月 12 日 (2020.3.12)

【年通号数】公開・登録公報 2020-010

【出願番号】特願 2018-165215 (P2018-165215)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

A 6 1 F 13/472 (2006.01)

A 6 1 F 13/532 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/53 2 0 0

A 6 1 F 13/472 2 0 0

A 6 1 F 13/532 2 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 3 日 (2021.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 1】

また、吸収性コア 2 0 は、中間コア部 2 2 において、幅方向 Y 中央に高坪量部 4 が設けられ、その両側に低坪量部 2 5 が設けられている。

そして、高坪量部 4 は、幅方向 Y 中央に高坪量高厚み部 4 1 と、高坪量高厚み部 4 1 と低坪量部 2 5 との間に、高坪量高厚み部 4 1 より厚みが薄い一対の高坪量低厚み部 4 2 を有する。高坪量低厚み部 4 2 は、低坪量部 2 5 に加えられた大腿部からの力を高坪量高厚み部 4 1 に伝播し難くする。このため、高坪量高厚み部 4 1 が不要な変形をし難くなるので、装着者の排泄部へ高坪量高厚み部 4 1 が密着し易くなり、フィット性が向上する。更に、排泄部と対向する領域及びその周辺である中間コア部 2 2 における変形は、局所的に高い剛性を生じることにより、装着者の肌との強い擦れ感を招くおそれがあるが、括れ領域 2 2 s の存在によって、低坪量部 2 5 及び高坪量低厚み部 4 2 の変形も抑制されているので擦れ感が低減される。

また、本発明の構成は、吸収性能へも良好な影響を与える。高坪量低厚み部 4 2 の存在によって、高坪量高厚み部 4 1 が不要な変形をし難くなることにより、装着者の排泄部へ高坪量高厚み部 4 1 が密着し易くなる。排泄部から排出された体液を吸収性コア 2 0 内部へ引き込み易くなるので、高坪量部 4 が多くの体液を保持し易くなり、括れ部において体液の横漏れが抑制されうる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 3】

以下、高坪量部 4 の幅、高坪量高厚み部 4 1 の幅、高坪量低厚み部 4 2 の幅、低坪量部 2 5 の幅は、高坪量部 4 の幅が前後方向 X に関して均一でない場合には、高坪量部 4 の幅が最も大きい部分において、幅方向 Y に仮想線を引いた箇所における幅である。

中間コア部 2 2 の幅方向中央域に配される高坪量部 4 の幅は、好ましくは 15 mm 以上であり、更に好ましくは 20 mm 以上であり、そして、好ましくは 60 mm 以下であり、更に好ましくは 50 mm 以下である。当該幅をこのような範囲とすることで、十分な吸収量を確保することができる。

高坪量部 4 は、その両側部が圧縮されることによって局所的に厚みが減じられた高坪量低厚み部 4 2 を有する。このように厚みが減じられることにより、装着時のごわつき感が低減される。

図 3 に示すように、高坪量高厚み部 4 1 の幅 a は、好ましくは 10 mm 以上であり、更に好ましくは 15 mm 以上であり、そして、好ましくは 40 mm 以下であり、更に好ましくは 30 mm 以下である。吸収性コア 2 2 の突出部となる高坪量高厚み部 4 1 の幅をこのような範囲とすることで、装着者の排泄部へのフィット性を高めることができる。

擦れの発生を抑制しつつ、吸収された液を前後方向 X に拡散する観点から、高坪量低厚み部 4 2 の幅 b は、好ましくは 2 mm 以上であり、更に好ましくは 3 mm 以上であり、そして、好ましくは 10 mm 以下であり、更に好ましくは 7.5 mm 以下である。

また、側方部 4 4 の幅 f は、高坪量低厚み部 4 2 の幅 b よりも広いと、鼠蹊部でのナブキン 10 による擦れが一層抑制されるので、好ましい。側方部 4 4 の幅 f は、好ましくは 10 mm 以上であり、更に好ましくは 12 mm 以上である。そして、好ましくは 30 mm 以下であり、更に好ましくは 25 mm 以下である。低坪量部 2 5 の幅 c は、好ましくは 5 mm 以上であり、更に好ましくは 7.5 mm 以上である。そして、低坪量部 2 5 の幅 c は、好ましくは 30 mm 以下であり、更に好ましくは 20 mm 以下である。

側方部 4 4 の幅 f は、高坪量低厚み部 4 2 の幅 b の、好ましくは 2 倍以上であり、更に好ましくは 2.5 倍以上であり、そして、好ましくは 5 倍以下であり、更に好ましくは 4 倍以下である。

また、高坪量低厚み部 4 2 の幅方向 Y における寸法 b は、括れ被覆部 3 4 の幅方向 Y における寸法 d よりも小さいことが好ましい。括れ被覆部 3 4 の幅 d は、好ましくは 5 mm 以上であり、更に好ましくは 10 mm 以上であり、そして、好ましくは 30 mm 以下であり、更に好ましくは 20 mm 以下である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

(1)

前後方向の両端部側に位置する前方コア部及び後方コア部と、前記前方コア部及び前記後方コア部の間に位置する中間コア部とを有する吸収性コアを具備する吸収性物品であって、前記中間コア部は、前記前方コア部及び前記後方コア部よりも、前後方向に直交する幅方向の長さが短く、前記中間コア部は、幅方向中央域に位置し、前記前方コア部及び前記後方コア部よりも坪量が高い高坪量部と、幅方向両側方域に位置し、前記高坪量部より低い坪量を有する低坪量部と、を有し、前記高坪量部は、幅方向中央部に位置する高坪量高厚み部と、前記高坪量高厚み部の幅方向両側に位置する前記高坪量高厚み部よりも厚みが薄い高坪量低厚み部と、を有する、パッド型吸収性物品。

(2)

前記低坪量部の幅方向における寸法は、前記高坪量低厚み部の幅方向における寸法よりも大きい、前記(1)に記載のパッド型吸収性物品。

(3)

前記高坪量低厚み部は、前記中間コアの前後方向全長に亘って配置される、前記(1)又は(2)に記載のパッド型吸収性物品。

(4)

前記中間コア部は、前記高坪量低厚み部と前記低坪量部との間に前後方向に亘って前記

低坪量部よりも坪量の低い第 1 の溝部を有する、前記 (1) から (3) のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(5)

前記吸収性コアは、前記中間コア部と前記後方コア部との境界に、前記低坪量部よりも坪量が低い第 2 の溝部を有する、前記 (1) から (4) のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(6)

前記吸収性コアは、前記前方コア部と前記中間コア部との境界に、前記低坪量部よりも坪量が低い第 2 の溝部を有する、前記 (1) から (5) のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(7)

前記中間コア部は、前記高坪量低厚み部と前記低坪量部との間に前後方向に亘って前記低坪量部よりも坪量の低い第 1 の溝部を有し、

前記第 2 の溝部は前記第 1 の溝部と連通している、前記 (5) 又は (6) に記載のパッド型吸収性物品。

(8)

前記前方コア部は後端にテーパ部を有し、前記後方コア部は前端にテーパ部を有する、前記 (1) から (7) のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(9)

前記前方コア部、前記中間コア部及び前記後方コア部は、前後方向に延在する縦溝部と幅方向に延在する横溝部を有する、前記 (1) から (8) のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(1 0)

前記高坪量低厚み部の坪量と、前記高坪量高厚み部の坪量とは、坪量の高い方と坪量の低い方の差を坪量の高い方で除した値が 2 0 % 以内であることが好ましく、1 0 % 以内であることがより好ましい、前記 (1) から (9) のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(1 1)

前記前方コア部は後端にテーパ部を有し、前記後方コア部は前端にテーパ部を有し、前記テーパ部は、それぞれ、その幅を前記中間コア部に向けて減少させる、前記 (1) から (1 0) のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(1 2)

前記中間コア部は、前記吸収性コアの前後方向中間部に位置する一対の括れ領域の間に形成され、

前記吸収性コアは、コアラップシートで覆われており、前記中間コア部の側縁部より幅方向外方では、前記前方コア部及び前記後方コア部の間に前記コアラップシートが架け渡されることで、前記中間コア部の外縁部から前記括れ領域に延出する括れ被覆部を有する、前記 (1) から (1 1) のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(1 3)

前記括れ被覆部の内部には前記吸収性コアを構成する吸収部材は存在しない、前記 (1 1) に記載のパッド型吸収性物品。

(1 4)

前記高坪量低厚み部の幅方向における寸法は、前記括れ被覆部の幅方向における寸法よりも小さい、前記 (1 1) 又は (1 2) に記載のパッド型吸収性物品。

(1 5)

前記中間コア部の低坪量部には当該低坪量部を幅方向に分割する縦溝部が存在せず、前記前方コア部及び前記後方コア部は、それぞれ、前記低坪量部の前方及び後方に縦溝部を有する、前記 (1) から (1 4) のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(1 6)

前記高坪量部の幅は、前方部及び後方部で漸次減少する形状である、前記 (1) から (

15) のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(17)

前記高坪量部の前端部及び後端部では前記高坪量低厚み部が存在せず、前記中間コア部における前後方向領域では、前記低坪量部の幅は、該低坪量部の前後方向の中間部側から両端部に向かって、漸次増加する、前記(1)から(16)のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(18)

前記高坪量高厚み部の密度は、 0.073 g/cm^3 以上であり、更に好ましくは 0.091 g/cm^3 以上であり、そして、好ましくは 0.182 g/cm^3 以下であり、更に好ましくは 0.164 g/cm^3 以下である、前記(1)から(17)のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(19)

前記高坪量低厚み部の密度は、好ましくは 0.114 g/cm^3 以上であり、更に好ましくは 0.143 g/cm^3 以上であり、そして、好ましくは 0.286 g/cm^3 以下であり、更に好ましくは 0.257 g/cm^3 以下である、前記(1)から(18)のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(20)

前記パッド型吸収性物品は生理用ナプキンである、前記(1)から(19)のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(21)

前記前方コア部及び前記後方コア部の幅は、好ましくは 60 mm 以上であり、更に好ましくは 70 mm 以上であり、そして、好ましくは 100 mm 以下であり、更に好ましくは 90 mm 以下である、前記(1)から(20)のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(22)

前記前方コア部及び前記後方コア部の厚みは、好ましくは 2 mm 以上であり、更に好ましくは 2.5 mm 以上であり、そして、好ましくは 7 mm 以下であり、更に好ましくは 6 mm 以下である、前記(1)から(21)のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(23)

前記前方コア部及び前記後方コア部の坪量は、好ましくは 90 g/m^2 以上であり、更に好ましくは 100 g/m^2 以上であり、そして、好ましくは 300 g/m^2 以下であり、更に好ましくは 250 g/m^2 以下である、前記(1)から(22)のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(24)

前記中間コア部の幅は、好ましくは 35 mm 以上であり、更に好ましくは 40 mm 以上であり、そして、好ましくは 75 mm 以下であり、更に好ましくは 70 mm 以下である、前記(1)から(23)のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(25)

前記中間コア部の前後方向の長さは、好ましくは 60 mm 以上であり、更に好ましくは 80 mm 以上であり、そして、好ましくは 180 mm 以下、更に好ましくは 170 mm 以下である、前記(1)から(24)のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(26)

前記高坪量低厚み部の幅は、好ましくは 2 mm 以上であり、更に好ましくは 3 mm 以上であり、そして、好ましくは 10 mm 以下であり、更に好ましくは 7.5 mm 以下である、前記(1)から(25)のいずれか 1 つに記載のパッド型吸収性物品。

(27)

前記中間コア部は、前記高坪量部の幅方向両側に位置する、前記低坪量部を含む一对の側方部を有し、

前記側方部の幅は、前記高坪量低厚み部の幅の、好ましくは 2 倍以上であり、更に好ましくは 2.5 倍以上であり、そして、好ましくは 5 倍以下であり、更に好ましくは 4 倍以

下である、前記（１）から（２６）のいずれか１つに記載のパッド型吸収性物品。